

## 受賞者名簿

氏名	役職	港名	主な功績(概要)
いしい ようじ 石井 洋司	NPO 法人 新潟みなとクラブ 理事長	新潟港	湊町として発展してきた新潟市の歴史を、歩いて魅力を発見してもらう目的で開催している、「湊まち新潟歴史ウォーク」の企画・運営を行う他、地元住民や保育園児など約100名が参加し、新潟空港のロビーに園児らが考えたデザインを基に花絵を製作する「新潟空港花絵で飾ろう」の企画・運営を行い、その基礎を築いた。また、技術の伝承として、北陸地方整備局の職員を対象とした、港湾技術力要請セミナーの講義・講師を行い、後進の育成にも力を注いでいる。
かみや まさみ 神谷 正巳	市民ボランティア団体 渡し場かもめ会 会長	衣浦港	高浜市の藤江の渡し場あとを拠点に、海の環境保護と浄化に貢献している。海岸の浄化活動を指揮し、次世代の児童に海の環境の大切さを伝えるための高浜の干潟調査は、現在200名を超える大イベントに成長している。また干潟にアサリを撒き続けた結果、昨年成長したアサリの生息を確認することができた。「芳川渡し場まつり」を通じて三河、尾張を結ぶ「藤江の渡し」を地元文化遺産として後世に伝え、地域とのふれあいの場として活性化させた。
いば せつこ 伊庭 節子	NPO 法人まいづる ネットワークの会 理事長	舞鶴港	「八島おかみさん会」を主宰し、商店街でのおもてなしや女性の視点でのまちづくりの機運を盛り上げた。観光ボランティアガイド「けやきの会」を立ち上げ、ガイドを養成し、国内外のクルーズ客・観光客を対象に地元ならではのきめ細かい案内の他、着地型観光の提案をしている。舞鶴市発祥ご当地グルメ「肉じゃが」を客船寄港時にふるまい港の賑わいを創出している。女性の視点から京都府港湾審議会委員として平成25年の港湾計画全面改訂に大きく貢献した。
おがわ かずこ 小川 和子	NPO 法人 みはらまちづくり兎っ兎 理事長	三原港	高速道路網が整備され、運輸サービスが海上から陸上へ大きくシフトし港の賑わいが失われた三原港で、「兎っ兎」を結成、空き店舗を活動拠点として、手作りパンの販売、Sea級グルメのメニュー提供、レンタサイクル事業の展開など、港の賑わいづくりに貢献している。また、「兎っ兎」周辺地域がみなとオアシス三原として登録することについても尽力した。ボランティアコーディネーターとしての経験を活かし災害ボランティアセンターの運営に携わり、安全・安心なオアシスの実現に向けて日々まい進している。
わきもと しげき 脇本 茂紀	みなとオアシス ただのうみ協議会 副会長	忠海港	忠海港を中心とした忠海駅周辺の賑わい創出に取り組み、地域のワークショップ立ち上げ、地元に着した活動を行っている。「みなとオアシスただのうみ」のブランドには「食」の視点が重要と考え、地元天然鯛を使った「鯛めし」を開発し、各イベントの人気商品となっている。また、地域活性化イベント「いっぺんきん祭りみなとオアシスただのうみ」を企画し、「村上源氏の娘」にゆかりのある忠海街並みツアーのガイドも務めた。